（様式１－３）

潮来市復興交付金事業計画　復興交付金事業等個票

平成２８年１２月時点

※本様式は１－２に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	潮来市復興インフラ整備事業		事業番号	◆D-19-3-1
交付団体			潮来市	事業実施主体（直接/間接）	潮来市	
総交付対象事業費			217,804（千円）	全体事業費	217,804（千円）	

事業概要

〈事業概要〉

本事業は、今後の災害に備えた地域のまちづくりとして、被災地の発展基盤となるインフラ整備を進めるため、これまで日の出地区内で進められていた復旧・復興事業の工事車両の通行を原因として損壊した道路舗装の補修を実施する。

当面の事業概要

		〈平成 28 年度〉		〈平成 29 年度〉
復興インフラ整備事業	測量設計	C=　22 百万円	本工事	C=　196 百万円

東日本大震災の被害との関係

本市は「水郷」と称され、東は北浦に面し、西は霞ヶ浦と北利根川、南は外浪逆浦と水辺に囲まれ、古くから水運の要所として栄えた町である。今回の震災により発生した液状化の被害は、この水辺を中心に発生し、道路や上下水道、ガス、電気等にライフラインなどの都市基盤は甚大な被害を受け市民の生活や経済活動に深刻な影響を及ぼした。宅地等の被害も甚大で、市内全域の建物被害６，３３３棟のうち、半数を超える３，７４５棟に液状化被害が確認されている。

関連する災害復旧事業の概要

潮来市の災害復旧事業	道路災害復旧事業	約 44.7ｋｍ（214 路線）
	下水道災害復旧事業	約 29.6ｋｍ
	水道災害復旧事業	約 25.4ｋｍ
	その他災害復旧事業	小学校、中学校、公民館等

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	D-19-3
事業名	日の出地区市街地液状化対策事業（D-19-3）
交付団体	潮来市

基幹事業との関連性

「復興インフラ整備事業」は，基幹事業の液状化対策事業による工事車両によって損壊した舗装を修繕することにより，液状化被害を受けた地元住民の復興に資する。